

令和2年6月3日

学生の皆さん

常葉大学学長 江藤 秀一

短期大学部学長 木宮 健二

### 対面授業の再開にあたって～6月8日からの授業について～

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、5月11日から対面授業ではなくポータルサイト等を活用した遠隔授業を行っておりますが、皆さんはどのような感想をお持ちでしょうか。「課題がたくさん出て大変だ」、「自分の都合に合わせて勉強できて便利」、「やはり直接皆と顔を合わせて授業を受けたい」など、さまざまな意見や感想をいただいております。5月11日の「新型コロナウイルス感染症対策に伴う遠隔授業開始にあたって」でも述べましたように、全学的な遠隔授業は本学では初めての取り組みですので、教職員一同、試行錯誤しながらも精一杯皆さんの教育にあっております。今回のこの取り組みが今後の教育のありようを変えていくことは確かなことだと思われまますので、私たちはさらに研修を重ねて、ICTやAIを活用するこれからの時代にふさわしい教育方法を模索していかねばならないと思っております。

さて、皆さんもご承知のとおり、静岡県では5月14日付で緊急事態宣言が解除され、県内の小・中学校や高等学校も徐々に教育活動を再開しております。本学におきましても、国及び県の方針に応じまして、感染防止策を最大限に講じたうえで、6月8日から段階的に対面授業を再開し、学内施設の利用も可能にすることといたしました。なお、今しばらくは遠隔で行う授業もありますし、施設利用や各種活動は一部制限することといたしております。これも感染拡大防止に最大限努めて、対面授業及び施設利用の全面再開を目指すためのものです。それを可能にするには、感染をこれ以上広げない、これにつきます。そして、なんといっても学生の皆さん一人ひとりの感染防止への理解と協力が必要です。皆さんには教務部及び学生部からの通知文をよくお読みいただき、それぞれの指示に従ってください。よろしくご理解とご協力をお願いいたします。

奇しくも対面授業を再開する6月8日は、本学の創立記念日にあたります。本学は終戦後のわずか1年後の昭和21（1946）年6月8日、歴史学者の木宮泰彦創立による静岡女子高等学院にその源を発します。当時の静岡は焼け野原状態で、食べるものすらままならない状況でありましたが、創立者をはじめ先達方は幾多の難局を乗り越え、今日の常葉大学の礎を築きました。創立者の思いは「より高きを目指して～Learning for Life～」という建学の精神に表されております。今般の新型コロナ禍のために私たちは極めて困難な状況に立たされておりますが、ともに力を合わせて、この難局を乗り越え、学び続けていきたいと思います。教職員一同、皆さん方の笑顔と明るい声がキャンパス内に戻ってくることを楽しみにしております。